



雪まつり特大号
2006年2月8日

みなさんこんにちは。札幌市観光企画課の武田です。2月6日(月)、ついに世界的な冬のイベントである「第57回さっぽろ雪まつり」が開幕しました。

「もぎたてさっぽろ」取材班では、観光客の方々がより雪まつりを楽しんでいただけるよう、モデルコースを組み立て、実際にそのコースを回ってみました。

雪まつりにいらっしゃる方々は、ぜひとも参考にしてください。

☆☆今月のピックアップ☆☆

- 1 さっぽろ雪まつり開幕特集
- 2 よこそさっぽろ2月の特集

1 さっぽろ雪まつり開幕特集

出発(9:30)

取材班は大通から「さとらんど会場」への道のりを地下鉄東豊線 & シャトルバスを利用して「さとらんど会場」へ行きました。

(各会場へのアクセスはコチラ<http://www.snowfes.com/contents/infomation/map.html>)

地下鉄東豊線「大通駅」から「新道東駅」へ向かいます。(地下鉄所要時間約11分)



東豊線「新道東駅」を降りると歓迎旗が。
新道東駅2番出口へ向かいます。(徒歩約2分)



「さとらんど会場」行きのバス(所要時間約20分)



駐車場の横では熱気球が上昇中。ワクワク感も上昇します！

大通駅を出発してから約40分で到着。時間を短縮したい方にオススメのアクセスです(片道360円)。

熱気球

取材班は、会場に到着するなりうわさの熱気球に搭乗！気球は約20mの高さまで一気に浮上。見える景色は大雪原で白一色で

す！！

東京から見えた観光客の方は「同じ国とは思えないほどキレイ！！」と大感激。「純白の夢呼ぶ雪原」は一見の価値あります。
 有料 大人1,000円 子供500円 天候により上がらない場合があります。



巨大すべり台

第8号でも紹介した「巨大すべり台」は初日から30分待ちとなる盛況振りで、小さな子供から大人まで楽しそうに歓声をあげて滑り降りていました。



氷のすべり台

幼児用の8m級のすべり台では、気持ちよさそうに滑る子、スピードにびっくりして泣き出す子、我が子のベストショットを撮ろうとカメラを構える親の姿など、ほほえましい光景が見られます。



スノーラフト

ラフティングボートをスノーモービルで引っ張り、雪原を勢いよく滑走。走行中は両サイドの壁に激突し雪煙が立ちのぼります。これは大人も子供もスリル満点のアトラクションですよ！※有料 大人500円 子供300円



雪の大迷路

見晴台からは、迷路の全体がよくわかり、会場全体を見渡すことができ気分爽快！さくらんどに隣接するモエレ沼公園のモエレ山もよく見えます。



でも、この見晴台にたどり着くためには迷路をクリアしなければなりません！さあ、あなたもチャレンジしてみてください。

◆ 雪まつり食堂と雪まつり屋台村

さとらんどにある交流館が、雪まつり期間中は休憩スペース及び食堂として利用されています。食堂は札幌プリンスホテルが運営していて、メニューとしては、昔風ラーメンや肉まん、焼きそばなどの他に、さとらんどで採れた野菜を使ったカレーライス(600円)と豚汁(450円)があります。豚汁は「さとらん豚汁」と名付けられています。



豚汁は野菜のうまみが出ていて、見た目よりもあっさりとしています。注目すべきは「芋もち」で、揚げた衣に野菜のうまみが染み込んでいて、それがじゃがいもの風味とマッチしていました。おすすめです。

交流館の周りには、雪まつり屋台村があって、さまざまな軽食を売っています。取材班が目にしたのは、道産素材を使ったスープです。



(ほたてのスープ)

ベーコンと野菜のスープ、ほたてのスープ、とろろ昆布のスープなどがあり(全て200円)どれも素材の味が生きています。また、ほたてのスープととろろ昆布のスープには、豚汁と同じように芋もちが入っています。この芋もちも絶品です。

屋台村では、他にもさまざまな北海道らしい軽食が販売されていますので、ぜひ探してみてください。

雪中パークゴルフ

北海道発祥のパークゴルフを雪上で体験できます。真っ白なコースでホールインワンを狙ってみませんか？



◆ 雪を送ろう～愛の雪だるま～

第8号でも紹介しましたが、雪だるまの型枠に雪を詰めて宅急便で送るものです。雪だけを送ることもできますし、雪だるまの中にチョコレートを入れて送ることもできます。

チョコレートはこの2種類で、値段はそれぞれ600円です。



このチョコレートを300円で買った型枠に入れて、このように雪を詰めます。

雪を詰めるための手袋と小さなスコップが用意されていますので、手をぬらさないで済みます。

雪を詰めすぎると、型枠の前側と後ろ側がきちんと閉まらないので、雪の量の調整が少し難しいですが、しばらく悪戦苦闘して、きちんと閉めて完成です。

本州に送る送料は1,000円です。

雪の降らない地域に送ると喜ばれると思い、取材班の1人は名古屋と大阪にいる姪と甥に送りました。また、バレンタインデーも近いので、恋人に送るのも良いかもしれませんね。

いざ大通会場へ(14:15)

さとらんどでたっぷり遊んだ後は、札幌駅経由大通会場までのシャトルバスが便利です。札幌駅までの所要時間は約45分。大通4丁目までは約1時間です。リクライニングシートなので、しばしお昼寝タイムはいかがでしょう(片道200円)。



大通会場からさとらんど会場に向かう場合は、大通4丁目の北側、郵便局前の大きく案内表示が出ているバス停からシャトルバスが出ています。



3丁目会場(15:15)

大通会場は、3丁目から西に向かってスタートすることになります。お目当ては、西側の「ともだちすべり台」。15:45までなので、皆さんお早めに。



4丁目会場

ひときわ背の高い西側の大雪像は、女子プロゴルフで人気の宮里藍選手や、沖縄のシーサー、首里城などが大迫力で迫ってくる大雪

像「ドリーム藍ランド・OKINAWA」。この日はステージで、沖縄の民謡や踊りが披露されていました。



5丁目会場

東側の雪像は、来年2007年、アジアで初めて開催されるFISノルディックスキー世界選手権札幌大会の中雪像です。取材班がやってきたときは、クイズ大会で盛り上がっていました。皆さん、来年は雪まつりとともに、ぜひ観戦にお越しください！

(<http://www.sapporo2007.com/jp/index.html>)



← 大会マスコット：ノルッキー

西側は、大氷像「ロイヤル・エキシビジョン・ビル」。オーストラリア・メルボルンのシンボルは、雪まつりで一番大きな氷像です。日中は空を映して透きとおった青い輝きを放っていますが、ライトアップされる夜は、幻想的な姿に一変します。



6丁目会場

6丁目は憩いの広場。観光案内所や迷子センター、救急センターなどが集まっています。皆さんの雪まつり見学をサポートします。

また、今年は足湯が登場！！いつもは羊ヶ丘展望台に設置されている足湯が、出張してきました。(雪まつり期間中のみ。羊ヶ丘展望台<http://www.sta.or.jp/hitsujigaoka/>)



← 足湯

足湯で生き返ったところで、甘いものが食べたくなくなってきました。売店をのぞいてみると・・・さとらんど同様、北海道らしいものがいっぱい。写真左から、いも餅ボールに生クリームといちごをトッピングした「さっぽろいちごっ子」、雪だるまのカタチをしたチョコバナナetc・・・どれにしようか目移りします。



ここで、会場で販売している公式グッズをご紹介します。記念バッジやぬいぐるみは、コレクターが多いグッズです。雪まつり限定チョコQも、ここでしか買えません。私の今年のお気に入り、ぬいぐるみストラップです。



7丁目会場

「プリンダース・ストリート駅」です。オーストラリアで最初に作られた駅であるこの雪像はとても精巧に作られており、一見の価値があります。



そして、売店では、ジンギスカンやラム料理が売られています。この「骨付きラムステーキ」は、柔らかくジューシーで臭みもなく、思わず夢中で食べてしまいました。



8丁目会場

「法隆寺 金堂」です。夕暮れ闇の中に浮かぶ法隆寺は美しいの一言！ 幻想的な雰囲気がただよっており、まさに「日本の美」といった感じます。



9丁目会場

イグルーや市民雪像などがあります。イグルーとは、雪のブロックで作るかまぐらのことです。中にキャンドルが灯されているなどいくつかのイグルーがあり、中に入って撮影することができます。



また、9丁目には、市民の方が制作した市民雪像が多くあります。今年、特に人気になっているのが、この雪像です。誰だかわかりますか？ 既に大人気撮影スポットとなっていました。



10丁目会場

「ハッピー台湾」という台湾の名所を集めた雪像があります。この雪像の1番高い部分の塔「TAIPEI101」は、高さ15メートル近くもあるんですよ。



11丁目会場

国際雪像コンクールを開催しています。ここでは、世界各地から15チームが参加し、2月4日から7日まで雪像を制作していました。国際色豊かな雪像が制作されています。



13丁目会場

今年初の試みである札幌市資料館のライトアップが実施されています。世界最高速度のスライドプロジェクターによるライトアップは歴史を刻む資料館をカラフルに彩り新しい魅力を見せてくれています



すすきの会場へ(18:10)

さて、大通公園を西端まで見たところで、タクシーに乗ってすすきのに移動します。すすきの会場では、すすきの氷の祭典が行われています。ここでは、約100基の雪像が並びます。



氷の中に魚介を入れた「氷の竜宮城」のほか、今年は氷のカラオケボックスが登場！なんと入場料は無料で、1組20分程度利用することができます。

食事(19:00)

さて、そろそろおなかもすきました。夜はやっぱりすすきので。すすきには北海道の美味しいものが集まっています。

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/food/susukino.html>

大通で食べる方はこちらで

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/food/oodori.html>

再び大通会場へ(20:30)

今度は4丁目から東、さっぽろテレビ塔に向けて出発です。

4丁目の東側は、3月から公開される映画、「ナルニア国物語 第1章ライオンと魔女」の大雪像。夜は臨場感あふれる音楽とまばゆいレーザーライトに照らされて、観客を映画さながらの迫力ある世界へ導きます。



2丁目会場

この広場は世界遺産であるカンボジアのアンコールワットのほか、昨年、北海道の知床が世界遺産に登録されたことを記念して、知床に生息するオオワシ、エゾシカなどの氷像が立ち並びます。またこの会場はライトアップされたさっぽろテレビ塔も美しく見え、写真スポットとなっています。



さっぽろテレビ塔

とうとう大通公園の東端、さっぽろテレビ塔までやってきました。お目当ては地上90mの展望室。展望台の入場料は大人700円です。

眼下に広がる東西約1.5kmの大通会場は、白い雪像と雪面が幻想的なイルミネーションに彩られ、ため息が出るほどの美しさです。大通公園の奥に目を凝らすと、ライトアップされた大倉山ジャンプ競技場を望むことができます(雪まつり期間中のみ。大倉山ジャンプ競技場<http://www.sapporo-dc.co.jp/okurayama/index.html>)。

帰りは、思い切って雪まつり期間中のみ開放されている非常階段を降りることにしました。フェンスに囲われているので安全ですが、寒空の下階段を降りるのはちょっと怖いもの。すばらしい眺望とともに忘れられない思い出になりました。



2 ようこそさっぽろ 2月の特集

「ようこそさっぽろ」

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/>

携帯版「さっぽろフットナビ！」

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/fnv/>

今月の「ようこそさっぽろ」は期間真っ只中の雪まつり特集と、最近話題の2007年問題の観点から、ロングステイして知る札幌の良さをお伝えしています。

○さっぽろ雪まつり協賛行事(ロープウェイ夜間営業、冬のソナタ ザ・ミュージカルなど)

イベントスケジュールの詳細はこちら

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/event/index.html>

□札幌スノーシューハイク□

第4号で紹介した札幌観光プロモーション助成事業で助成金を交付する事業に選ばれた「札幌スノーシューハイク」が2月8日(水)から

2月12日(日)にかけて開催されます。大都市札幌のすぐそばにある自然を体験できます。オプションツアーとして参加してみませんか。

<http://www.neos.gr.jp/eco-navi/HES/snowshoe.htm>

~~~~~

皆さんはどんな“もぎたて”情報を求めていますか。もっと嗜好に合わせた鮮度の高い情報をお届けするため、アンケートを実施しています。気軽にお答えいただけるよう設問は4つですので、下記URLをクリックしてご協力ください。

一般の方はこちら

<http://www.saku2.net/lib/enquete.cgi?-handle=392005246&-id=20060130-1>

観光関連業界の方はこちら

<http://www.saku2.net/lib/enquete.cgi?-handle=392005246&-id=20060125-1>

~~~~~

○編集後記○

「もぎたてさっぽろ」いかがでしたか？今回の「もぎたてさっぽろ」では、初の試みとしてモデルコースを作って実際に回ってみました。雪と触れ合える魅力を存分に味わえる「さとらんど会場」、大雪像の精巧さに圧倒される「大通会場」、氷像がすすきののネオンに映える「すすきの会場」、それぞれに魅力がありました。今回のモデルコースは、一日コースを想定していますが、もし、半日しか時間がとれないような場合は、大通会場の部分から回るとちょうどいいと思います。最後までお読みいただきありがとうございました。

ご意見・ご質問はこちらまで kanko@city.sapporo.jp

次号は3月10日発行予定です。

札幌市観光文化局観光部観光企画課

Tel011-211-2376 Fax011-218-5129

E-mail kanko@city.sapporo.jp
